

2012 年 10 月 9 日

報道各位

住友金属鉱山株式会社

菱刈鉱山における下部鉱体の開発について

住友金属鉱山株式会社（本社：東京都港区、社長：家守伸正）は、菱刈鉱山（鹿児島県伊佐市、鉱山長：岡田和也）において、現在採掘中の鉱体の下部にも有望な鉱体が連続していることが確認されたため、今後この下部鉱体を新たに開発することを決定しました。

投資総額は、約 32 億円を計画しており、2012 年 11 月に工事を開始し、2018 年から下部鉱体の採掘を行う予定です。

これまでの探鉱の結果から予想すると、この開発により金量約 30 トンの獲得が期待されます。

菱刈鉱山では、地下に温泉水が存在しており、この水位を下げる設備を海拔マイナス 50 メートルレベルに設置し、金鉱石の採掘を行っています。近年の探鉱の結果、現状の水位よりさらに下部にも有望な鉱体が連続していることが確認されたため、今後この下部鉱体の開発を進めることとしました。下部鉱体の採掘にあたっては、水位をさらに低下させる必要があることから、そのための新たな設備を坑内の海拔マイナス 80 メートルレベルの地点に設置します。

菱刈鉱山は、我が国最大の生産量を誇る金鉱山であり、当社にとって重要かつ安定した収益源です。また海外資源獲得へ向けて国内唯一の鉱山技術者養成の場という側面も併せもっています。当社は、菱刈鉱山の長期安定操業に向け、今後も新規金量の獲得に努めてまいります。

（本件に関するお問い合わせ先）

住友金属鉱山株式会社

広報 I R 部 青野祥紀

TEL：03-3436-7705

FAX：03-3434-2215

以 上